

会議録

会議名	第1回（仮称）宇都宮市国際化推進計画策定懇談会
開催日時	平成20年9月30日（火） 午前10時00分～午前11時50分
開催場所	宇都宮市役所 14階14B会議室
出席者	委員 田巻松雄，和田佐英子，上野和夫，白井佳子，酒井昭二，中田隆人，西房美，半貫光芳，石川アンナ，福泉水玲，阿久津容子，黒瀬裕二（12名 敬称略）
	事務局 市民生活部長，市民生活部次長，国際交流プラザ所長 事務局職員3名
公開・非公開	公開
議事	1. 計画の策定について 2. 計画策定の考え方について 3. 現状と課題の整理について
次第	(1)開会 (2)部長あいさつ (3)懇談会委員，事務局等の紹介 (4)懇談会の設置について 資料1に基づき説明 (5)会長，副会長の選出 ・委員の互選により，田巻委員を会長に，白井委員を副会長に選出した。 (6)会長・副会長あいさつ (7)会議の公開について ・参考資料1に基づき事務局が説明，会議を原則公開とすることの了承を得，傍聴者を入室させる (8)報告事項 計画の策定について ・事務局（国際交流プラザ所長）から，資料2に基づき，策定に関する基本事項・スケジュールを説明 (9)審議事項 計画の考え方について 宇都宮市の国際化に関する現状と課題について ・事務局（国際交流プラザ所長）から資料3～9に基づき説明
会議の結果	1. 会議は公開とする 2. 次回以降，各委員の意見を整理し，計画の目標・施策の展開に反映させる 3. 各委員の意見・要望などを事前に集約するなど，効果的な議事運営について会長と事務局で協議を行う
発言要旨	
【報告事項 計画の策定について】	
会長	・資料2の関連計画との整合の箇所で，点線と実線の違いは何か？

事務局	総合計画は本市の最上位の計画であり、この計画はそのうちのひとつの分野を担う分野別計画であるため、その関連性を強く実線に表示した。また、国・県の計画とは考え方を尊重・反映させていくものであるため、点線に表示した。
会 長	パブリックコメントのやり方は？
事務局	地区市民センターやホームページによる閲覧を通してご意見を頂く予定である。
会 長	提言書はどのような形を想定しているのか？
事務局	各委員の発言の要旨をまとめ、提言という形にしていきたい。
委 員	自治基本条例の委員をしていたが、パブリックコメントということで地域の人にPRをしていたがあまり集まらなかった。呼びかけが難しいと思うので、効果的なPRができるよう、市民に広く届くように配慮をお願いしたい。
事務局	パブリックコメントの実施に当たっては在住外国人との意見交換などを通じた積極的な仕掛けなどを考えたい。
副会長	関連計画との整合は？また、関連計画の進捗や担当部局の意見を聞きたい場合はどう対応するのか？
事務局	関連計画との整合は、庁内策定委員会などを通してすりあわせをしていく。また、関連する施策の取り組みについては基本的には事務局で説明するが、必要に応じ呼ぶなど対応したい。

【審議事項 現状と課題の整理について】

会 長	日ごろの活動や経験を踏まえて、各委員から事務局の説明に関する意見・質問をいただきたい。
委 員	<ul style="list-style-type: none"> ・国際化をめぐる現状はコミュニティに新規住民をどう受け入れるかというところまでできており、受け入れる人が日本人ではなかったり、文化が異なっているという状況になっている。 ・大学で留学生を受け入れる担当をしているが、学校のコミュニティに留学生をどう受け入れ、地域の方にどう受け入れていただくか、学生に安心・安全な生活をどう送っていただくかが重要だと考えている。 ・安心・安全な生活という点では、日本人・外国人であっても共通であり、多くのトラブルが生じる原因が文化や母国の経済ルールや格差、またはそうしたルールを知らないことによることが多い。 ・挨拶やゴミの出し方などの地域のルールをはじめに学ぶことが必要。総合的に課題をとらえているとは思いますが、本市のルール、外国人との共通のルールをどう作り、どう伝えていくかが課題と考えて提言していきたい。
委 員	<ul style="list-style-type: none"> ・会議所の立場から見ると、この課題の整理の中で国の労働政策の動向や外国人の労働問題などを扱っているが、インバウンド（*事務局注記 日本を訪れる外国人）として外国人を受け入れる立場として意見を申し上げたい。都市のインフラ整備をお願いしたいと思う。
委 員	<ul style="list-style-type: none"> ・資料はまとまっていると思う。宇都宮市に30年住んでいて、SGGや自治会活動を通して、地域に求められているのは地域に住む外国人がさびしい思いをしないで済むように、地域に住む外国人が生きがいを持って暮らしていけるようにし

ていくことだと感じた。日本人との付き合いの程度に関するアンケート回答を見ると、65%が地域でさびしく心細い思いをしている。この辺りをしっかり見てあげて、生きがいを持って暮らせることが課題だと思う。

- ・地域リーダーやサポーターの育成について、行政としてどう支援し効果を高めていくかが課題。調査のデータを活用し、いかに盛り込んでいくかが検討課題である。

- 委員
- ・自治会活動をしている。清原地区は特に外国人が多く居住しているが、外国人が地域に対してどうアタックしていったらよいかかわからない状況にある。安心・安全面から、災害時の対応がわかっていないなどの点が明らかになった。
 - ・コミュニティについて、日本人にも欠如している意識をいかに高めて多文化共生を進めていくか。まちづくりにおいては、地域の課題をとらえきれずに協働といっているようなところがあるが、地域の外国人のニーズを見つけてどう対応していくかが大切である。

- 委員
- ・偏見をなくしてほしいという自由回答が気になった。いろいろな事情で日本に住んでいる在日の人への配慮が必要。税金は集めておいて参政権はないなどの現状が課題であると認識している。

- 委員
- ・現行の計画では「合法の外国人」を対象としているようだが、在住外国人の方が合法か非合法かということは日常生活を送る上ではわからないことだ。例えば、特区や資格問題など、前回の計画よりもさらに踏み込んだ議論まで行かないと、優等生的な結論にしかならないのではないか。
 - ・本市は工業団地において、外国人労働者を受け入れていく都市である。海外に生産拠点を移すのか、本市の受入人口を増やすという観点をこのビジョンの中でどのように取り入れるのか。外国人受入に関する戦略を持っていないとダメだと思っている。

- 委員
- ・国際交流プラザで仕事をしていて、外国人に対する日本人のものの見方や偏見のようなものにぶつかることがある。子どもたちが外国語を話すことをはずかしいと感じないよう環境を改善する必要がある。そういった点が課題ではないかと思う。

- 委員
- ・宇都宮はとても住みやすいところだが、通訳をやっている中で、自治会に入らない、理由は自治会を知らないからという声を聞いたこともある。地域に住んでいる外国人の言葉がわかる民生委員のような人がいると良いと思う。外国人を地域に引っ張り出すことが必要。
 - ・小学校中学校で日本語を教えているが、親の都合で連れてこられた子どもが言葉の点で友達にからかわれたりすることがある。将来日本人として日本社会を支える可能性のある子どもに教育を充実させないと彼らの将来がとても不安である。そういった子どもも日本や地域に役立つ人材としてとらえ日本語学習支援にもっと力を入れるべきだと思う。

- 委員
- ・地域で活動をしているが、今までこうした計画があることも知らなかったし、情報は入ってこなかった。今回は、地域で活動している団体に目を向けていただくチャンスと思っている。外国人が自治会に加入し、地域で活動できるように日本人の意識・国際理解を進めることが必要。行政からどのような支援が得られるか期待している。

- 委員
- ・多文化共生社会という言葉が出てきて2、3年になると思うが、ややわかりにくいと感じている。解説を入れるか、身近に浸透できる言葉で表すことが必要ではないか。

副会長	<ul style="list-style-type: none"> 資料を見ていると課題の後ろにある実情がわかってきた。例えば10年ほど前市庁舎を借りて日本語教室をやっていた頃よりも生徒やボランティアが減ってきている。行政の役割は、場を提供する、情報をわかりやすく発信する、コーディネーターとして交通整理をすることであり、こうした自治体は活発化しており、そのような機能が必要ではないかと考えている。武蔵野市のような医療・法律など専門的なワンストップサービスのしくみが作られることを期待している。 また、この計画が行動計画であるという点に期待し、重みを感じている。
会長	<ul style="list-style-type: none"> 取り組みの現状として、相談事案の分かる資料を示してほしい。 課題を整理した3つの切り口はどれも重要なものだ。アンケートの調査結果をもっと大切にして、有効活用したい。多文化公共圏センターで実施する予定の日本人の意識調査結果とつき合わせて検討する機会があればと思っている。 多文化共生という言葉の実態や、深刻な事態に直面する非合法の外国人の問題をどうするか、労働者の問題と市民主体の国際交流へのシフトは簡単には結びつかないが、自由な観点から議論したいと思う。
会長	<ul style="list-style-type: none"> その他事務局への要望などはないか。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 8, 100人の在住外国人の地域データがあると良い。自由な懇談の時間がほしい。
会長	<ul style="list-style-type: none"> 懇談ができる時間をできるだけ確保するようにしたい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 在住外国人の生の声が聞けるような資料はできないか
委員	<ul style="list-style-type: none"> 在住外国人の国別の数や地区のデータなどがあるとわかりやすい
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 個人情報に配慮し、可能な範囲でお示しする。
会長	<ul style="list-style-type: none"> 次回以降は懇談を重視し、事前に意見をどう取り扱うかは事務局と相談する。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 委員同士の共通の課題を踏まえたうえで、優先順位がわかると議論しやすいのではないか。
会長	<ul style="list-style-type: none"> 事前の意見聴取や論点整理について、事務局とも相談し、効果的な方法を検討する。
【その他】	
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 次回は10月31日午前10時から、同じ14B会議室を予定している。 詳細は後日通知をお送りする。
会長	<ul style="list-style-type: none"> それでは次回は10月31日に第2回を開催する。 以上をもって、第1回の懇談会を終了する。ありがとうございました。